

## 私の故郷 出雲を紹介します！



歯科 原 麻里奈 先生

こんにちは。歯科で非常勤としてお世話になっております、原麻里奈と申します。大学から岡山に来て早11年、倉敷平成病院勤務は2年目となりました。

私は島根県出雲市出身ですが、父の転勤のため他県にいたこともあり、気付けば出雲で過ごした歳月よりも岡山の方が長くなりました。岡山は『晴れの国』で過ごしやすく、大変良いところですが、今回は私の故郷『神話の国』出雲をご紹介します。

出雲といえば、縁結びの神様として知られる大国主大神(オオクニヌシノミコト)を祀る出雲大社が有名ですが、皆様御存知でしょうか？出雲大社の歴史は大変古く、『古事記』の神話に遡ります。細かい内容は省略

致しますが(神話もおもしろいので、機会があればぜひ)、大国主大神は、自身の国を天の神アマテラスの子孫に護ることであり、その代償として建てられたのが出雲大社とされています。国宝である現在の御本殿は1744年に造営され、これまで3度の遷宮が行われてきましたが、今年60年ぶりとなる「平成の大遷宮」が行われました。遷宮とは、御神体や御神座を本来あったところから移し、社殿を修造し、再び御神体にお還りいただくことです。

今年5月、5年間にわたる御本殿修造が終わり、大国主大神は御本殿にお還りになりました。御本殿の修造では、大屋根が70万枚もの檜皮で葺き換えられ、130年前の「ちゃん塗り」と呼ばれる塗装技術が再現され、震災被害にあった東北地方の木材などが使用されているそうです。御本殿大屋根の面積は約180坪、軒先の厚さは約1mにもなるそうです。8月に久しぶりに帰省した際、参拝し、その迫力に圧倒されましたが、こんなに素晴らしい技術が施されているとは知らず、御縁結びのお祈りをするのに必死でした。改めてこのような目線で訪れるとおもしろいかもしれません。

さて、全国的に旧暦で10月は

神無月ですが、出雲では神在月(かみありづき)と言います。全国の神々が出雲に集まり、様々な御縁を会議されるためと言われています。そのため、出雲大社では11月(旧暦10月)には神迎祭、神在祭、縁結大祭といったお祭りが控えています。また、出雲はぜんざい発祥の地です。お祭りの際、神様に振る舞われたのが「神在(じんざい)餅」で、出雲弁で訛り「じんざい」→「ぜんざい」となって伝わったと言われています。出雲大社の周りにはぜんざい屋さんがたくさんあります。また、高田屋という創業180年の老舗の和菓子屋さんもあります。出雲の割り子蕎麦(個人的には荒木屋というお蕎麦屋さんが大好きです)も非常に美味しく、オススメです。

この秋、皆様も神様が集う『神話の国』出雲に遊びに行ってみてはいかがでしょうか。素敵な御縁に巡り合える…かもしれません。

今まで出会った方、これから出会う方々との良きご縁を大切にしていきたいと思います。今後とも何卒宜しくお願い致します。

原先生は毎週木曜日の歯科外来を担当しております。

Doctor's Eyes